

⑧

※種別※整理番号※											
※区分											
支 払 を受 け る者 所	(受給者番号)										
	(個人番号)	⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮									
(役職名)											
(フリガナ)											
氏名											

注1

種別		支払金額		所得控除の額の合計額		源泉徴収税額	
		内	千円	内	千円	内	千円
(源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別) 控除の額		控除対象扶養親族等の数 (配偶者を除く。)		16歳未満 扶養親族 の数	障害者の数 (本人を除く。)
老人		特定期	老人 人從人	その他 人從人	特親 人從人	非居住者 である 親族の数	特定期 人
有	疑有	千円	人從人	人從人	人從人	人	人
特定親族特別控除の額		社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額	
千円		内	千円	内	千円	内	千円

(摘要)

注2

生年月日 の金額の 内訳		新規登録 保険料 の金額		修正登録 保険料 の金額		新規登録 保険料 の金額		修正登録 保険料 の金額	
住宅借入金等特別控除 適用数		居住開始年月 日(1回目)		年	月	日	住宅借入金等 特別控除区分 (1回目)	住宅借入金等 年未残高 (1回目)	
住宅借入金等特別控除 可能額		居住開始年月 日(2回目)		年	月	日	住宅借入金等 特別控除区分 (2回目)	住宅借入金等 年未残高 (2回目)	

注3

(フリガナ) 配偶者 氏名		区分		配偶者の 合計所得		国民年金保 険料等の金額	旧長期損害 保険料の金額
個人番号		※		基礎控除の額		所得金額 調整控除額	※
(フリガナ) 1 氏名		区分		1 氏名		1 氏名	
個人番号		※		個人番号		個人番号	
(フリガナ) 2 氏名		区分		2 氏名		2 氏名	
個人番号		※		個人番号		個人番号	
(フリガナ) 3 氏名		区分		3 氏名		3 氏名	
個人番号		※		個人番号		個人番号	
(フリガナ) 4 氏名		区分		4 氏名		4 氏名	
個人番号		※		個人番号		個人番号	

注4

注5



中止就・退職

受給者生年月日

注6 注1

未成年者	外国人	死亡者	災害者	乙	本人が障害者 特 別 そ の 他	寡婦	ひとり親	勤労学生	中止就・退職	受給者生年月日	
支 払 者	個人番号又は 法人番号	住所(居所) 又は所在地	(右欄に記載してください。)							元号	年月日
(市区町村提出用)	(電話)										

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

～給与支払報告書(個人明細書)の記載について～

給与支払報告書(個人明細書)の様式は、必ず令和8年度分(令和7年分)を使用してください。

記入方法の詳細は、「令和7年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引(国税庁作成)」の源泉徴収票の記載方法を参照してください。

【記入上の注意】

■注1 「住所」は、受給者の令和8年1月1日現在の住所又は居所を本人に確認し記入してください。また、「個人番号」「氏名」「フリガナ」「生年月日」についても正確に記入してください。

■注2 2ページ目をご覧ください。

■注3 配偶者控除又は配偶者特別控除の対象となる配偶者がいる場合は、「氏名」、「フリガナ」、「個人番号」、「令和7年中の合計所得金額」を正確に記入してください。

■注4 控除対象扶養親族がいる場合は、「氏名」、「フリガナ」、「個人番号」を正確に記入してください。5人目以降は、※欄に記入してください。

■注5 16歳未満の扶養親族がいる場合は、「氏名」、「フリガナ」、「個人番号」を正確に記入してください。5人目以降は、※欄に記入してください。

※ 記入漏れがありますと住民税、保育料、児童扶養手当などの算定の際に影響が出場合がありますので、ご注意ください。

■注6 年の途中で就職または退職した方は、就職日または退職日を記入してください。

■注2 摘要欄について（詳細は、「令和7年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引（国税庁作成）」をご確認ください。）

① 前職分の給与を含めて、年末調整をした場合

「前職分の給与の支払者所在地・名称」、「支払金額」、「社会保険料額」、「源泉徴収税額」、「退職日」を記入してください。

（記入例）前職分　〇〇会社　幕別町△番地　令和7年3月31日退職

支払金額 1,000,000 円　社会保険料 180,000 円　源泉徴収税額 30,200 円

② 障害者控除の対象者が、同一生計配偶者（控除対象配偶者を除く。）である場合

「氏名」、「同一生計配偶者である旨」を記入してください。

（記入例）幕別　花子（同配）

③ 退職手当等の支払いを受ける配偶者または扶養親族がいる場合

「氏名」、「続柄」、「生年月日」、「住所」、「対象となる方の合計所得金額の見積額（退職手当分を除く。）」、「障害者等に該当する場合はその旨」を記入してください。

（記入例）幕別　五郎（退）、子、昭和50年3月1日、幕別町口番地、〇円

④ 租税条約に基づいて所得税の減免を受ける場合

「免税対象額」、「該当条項」を赤書きしてください。（記載がないときは、住民税の減免を受けることができない場合があります。）

（記入例）〇〇円、△△条約口口条該当